



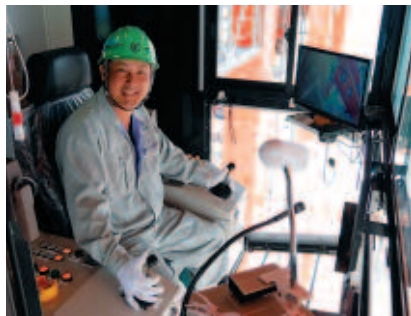
高島大輔さん

コンテナの積み卸しをするための巨大なガントリークレーン。そのオペレーター、通称“ガンマン”の高島さんに、四日市港での仕事について伺いました。

■港湾の花形“ガンマン”

仕事の内容は港湾での荷役です。一口に荷役といっても、コンテナ船の上で積み荷を固定したり、ストラドルキャリアという特殊自動車でコンテナを移動させたりと、さまざまな仕事があります。

その中でも、ガントリークレーンを操縦するガンマンは港湾の花形と言われており、クレーン運転士免許と専門の研修の受講が必要です。10年ほどの下積みを経て、



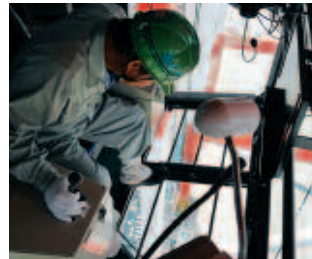
ガンマンの仕事に就けたときはうれしかったですね。ちなみに、ガントリークレーンは三重県では四日市港にしかないんですよ。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

- CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
日時：8月11日～9月10日
月水金日 9：30・20：30
火木土 12：30・20：30
- CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。
日時：8月13日・27日 8：54・14：54

■繊細な操作が求められます

大型の荷役機器であるガントリークレーンですが、繊細な操作が必要で、とても気を使います。荷物を揺らさないように運ばなければなりませんし、スピードも求められます。そして、何よりも大切なのは作業を安全に行うことです。地上30mにある操縦席からは下で作業している人が見えない場合があるので、現場リーダーからの指示や合図を頼りに、最大限の注意を払いながら操作しています。



操縦席で吊り具を操作する高島さん



吊り具が揺れないように、操縦席を細かく前後に動かして制御します

■物流で皆さんの生活を温かく

四日市港は世界の主要な港と航路でつながっていて、24時間365日動き続けています。荷役の仕事も船の往来に合わせて行われるため、季節や時間帯に関係なく仕事が入ります。貿易には盆休みなどは関係ありませんから。

大変なこともありますが、こうして運んださまざまな荷物が皆さんの温かい生活につながっていると思うと、やりがいを感じますね。



有料広告掲載欄



技能実習生紹介

三重ものづくり協同組合

お問い合わせ先

〒514-0831 三重県津市本町34番6号
電話 059-213-5701 FAX 059-374-3718
担当：龍村 j-tatsumura@isenp.jp

技能実習制度とは法務省入国管理局が実施している制度で、発展途上国の経済発展・産業振興の担い手となる人材育成を行うために、諸外国の青壮年労働者を日本の企業が受け入れ、産業上の技能修得を目的としたもので、我が国の国際協力・国際貢献の重要な一翼を担っています。



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。